

本日開催の本連盟常務理事会で、下記事項を決定いたしました。

記

【1】第96回日本水泳選手権競技大会アーティスティックスイミング競技（11/12-15）

- 1) 従来の形態を変えて、開催を目指す。*下記【3】参照
- 2) 大会要項は、本連盟HPにて公開する。

【2】日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2020（11/12-15）

- 1) 従来の形態を変えて、開催を目指す。*下記【3】参照
- 2) 大会要項は、本連盟HPにて公開する。

【3】第96回日本水泳選手権競技大会アーティスティックスイミング競技および日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2020の大会運営方式

- 1) 安全に競技会が開催できる状況になった場合を前提に、当該2大会の、同一期日・同一会場での開催を目指す。
- 2) 当該2大会は、競技日程（タイムスケジュール）を分け、別大会として実施する。
※詳細はエントリー受付後、調整の上決定する。
- 3) 本連盟「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に準拠した運営により、3密の回避を目指す。

【4】第13回全日本ユース（U15）水球競技選手権大会（桃太郎カップ）（12/24-27）

開催困難と判断し、中止とする。

[理由]

- ① 出場予定チームの所属地域において感染が拡大した場合は、大会に参加（施設の利用）ができない。 ※現在のところ倉敷市開催施設は「過去2週間以内に、感染拡大している地域や外国を訪問した人がいない」ことが利用条件となっている。
- ② 公平な予選が実施できない（感染拡大の可能性が高い地域を、予選会から対象外とした場合）。
- ③ 選手に加え、競技役員の確保も困難である（約9割を県外から招へいしている）。

【5】第3回日本社会人選手権水泳競技大会（11/7-8）

当初の計画通り、開催を目指す。

以上